

2016年度業績一覧

2016.4 ~ 2017.3

井上智史 (助教)

【論文】

井上智史. 水平線と垂直線を特徴とするパウル・クレーの作品における比率の分析. 基礎造形 025: 日本基礎造形学会論文集・作品集 2016. 日本基礎造形学会. 2017, p.9-16.

【研究会報告】

井上智史. 「デザイン基礎」授業報告: 初学者を対象とした石膏デッサンなどの課題の実践～グレースケールのシールを用いた描写について～. メディアと情報資源: 駿河台大学メディア情報学部紀要. 2016, Vol.23, No.2, p.71-76.

【学会発表】

井上智史. 色彩の課題における色情報の活用 RGB 値を利用した色彩教育の可能性. 第 63 回日本デザイン学会春季研究発表大会. 長野大学. 2016-07-02.

野村正弘、井上智史、住田功太朗、白石行広、宇梶勝雄. 極微小資料の光学顕微鏡撮影による 3 次元デジタルアーカイブ化 (その 2). 第 23 回日本教育メディア学会年次大会. 奈良教育大学. 2016-11-27.

【研究テーマ】

グラフィックデザイン、デザイン教育、e ラーニング、コンピュータアート

今村庸一 (教授)

【研究テーマ】

映像ジャーナリズム論、映像と国際関係論

大久保博樹 (教授)

【論文】

音響効果技師の制作した効果音に対する視聴者反応の実証的な研究 (査読付)
日本大学研究員研究報告書 vol.15 日本大学芸術学部 pp.64-68, 2016/7

効果音の制作過程の差異に対する視聴者反応とその評価 — 映画の音と評価法 — (査読付)
情報文化学研究 第 7 号 JiCS 情報文化学会連合研究会 pp.9-16, 2016/8

音はいかにして効果音になるのか — 擬音と情報環境 — (査読付)
情報文化学会誌 Vol.23(1) 情報文化学会 pp.37-40, 2016/9

効果音の音源管理・検索システムの現状と研究課題

メディアと情報資源 Vol.23(2) 駿河台大学メディア情報学部紀要 pp.72-73, 2017/03

【著書】

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 村尾英俊, 大久保博樹, 福地順子. ”平成 29 年版 パーフェクト行政書士 過去問題集”. 住宅新報社. 2017 年 02 月 6 日. pp322-324, pp398-404, pp482-485, pp563-571, pp652-658 (分担執筆). ISBN978-4-7892-3814-4

【学会発表】

音響効果技師の制作した効果音に対する視聴者反応の実証的な研究

日本大学芸術学部研究員報告会 (日本大学芸術学部 江古田校舎アートギャラリー)

ポスターセッション 2016/4/25-28

【その他】

第 22 回情報文化学会賞 片方善治賞受賞

「擬音を中心とする効果音の制作過程に関する最適化の研究」

2016/11/05, 情報文化学会全国大会 (東京大学山上会館)

朝日放送(ABC) 創立65周年記念 連続ラジオドラマ「ナデシコですから」全65話の効果音制作 (約 570 の SE と素材を制作して毎週納品。番組として社長賞を受賞)

2016/4/12 ~ 9/13

・ ABC の特設 Web サイト <http://abc1008.com/nadeshiko/>

http://abc1008.com/nadeshiko/staff/#thanks_01

平岡淳司, 「連続ラジオドラマ『ナデシコですから』技術面で新たな取り組みを展開!」朝日放送社報 707 号『あんでな 2016 年 8・9 月号』, p.35, 2016/8

橋本裕子, 連続ラジオドラマ「ナデシコですから」公式プログブック『色とりどりに温故知新』, ABC ラジオ, p.87, 2017/3/12

高橋克典, 高橋悟, 石坂要一, 大久保博樹, 村尾英俊, 福地順子. 不動産受験新報 2016 年春号 (季刊), ”特集平成 27 年度行政書士試験詳細分析”. 住宅新報社 pp.80-84, 2016/4

【研究テーマ】

音響演出, 映像と音響のマルチモーダル、デジタルコンテンツと IT (教育と利活用)

城井光広 (教授)

【講演】

題目: 「平成 28 年度子ども大学はんのう」

講演会等: 「回転盤で自分のアニメを作ってみよう! ~自分で描いた絵が動きます~」

発表年月: 2016.10.1

【創作活動等(オブジェ展示・個展)】

題目：年末年始イルミネーションとオイルアート展

講演会等：横浜クリエイションスクエア1階

発表年月：2016.12.13~2017.1.16

【授業研究】

題目：ゼミナールにおける「クレイアニメーションの制作実習」の成果と課題

講演会等：メディアと情報資源 紀要23巻2号 P37-45

発表年月：2017.3

【研究テーマ】

グラフィックデザイン、オブジェ制作、アニメーション制作

金 基弘(准教授)

【論文】

金基弘. “2016年NHK放送技術研究所公開を通して見た次世代放送—3次元音響を中心に—”. 韓国コンテンツ学会誌, 2016, vol. 14, no. 4, p. 39-42.

金基弘, 城島隼人, 高田正幸, 岩宮眞一郎. “環境音楽による道路交通騒音の心理的軽減効果”. メディアと情報資源, 2017, vol. 23, no. 2, p. 29-35.

【学会発表】

金基弘. “映像作品における音のデザインの教育”. 日本音響学会2016年秋季研究発表会講演論文集, 富山大学, 2016.

【招待講演】

Ki-Hong Kim, Mikiko Kubo, Shin-ichiro Iwamiya. “Optimum Insertion Timing of Symbolic Music to Induce Laughter in Video Contents”. 5th Joint Meeting Acoustical Society of America and Acoustical Society of Japan [invited paper], Honolulu, 2016.

増沢みどり, 金基弘. “J-Popのヒット曲にみられる「4つ打ち」の使用について”. 日本音響学会音楽音響研究会, 駿河台大学, 2017.

【研究テーマ】

音と映像の相互作用、音の主観評価、サウンドスケープ、サイン音、聴能形成

齋賀和彦(教授)

【講演】

齋賀和彦 4Kムービーとパーソナルコンピューター AUGM 長崎 2016-5-21

斎賀和彦 4K ムービーとストレージ CP+2017. 2017-2-23,24,25

【雑誌特集記事】

斎賀和彦 進化した EOS MOVIE の現在 コマーシャルフォト, 玄光社, 2016, 11 月号

【雑誌連載】

斎賀和彦, 高田昌裕 Final Cut Pro Reboot ビデオ SALON, 玄光社, 2017, 1 月号～(連載中)

斎賀和彦 斎賀教授のアフターファイブ ビデオ SALON, 玄光社, 2017, 1 月号～(連載中)

【作品】

斎賀和彦 OM-D E-M1 Mark II プロモーションムービー集 / オリンパス社 2017-2

斎賀和彦 西川材物語 / 飯能市との共同研究による 4K ムービー 総監督 2017-3

【研究テーマ】

デジタル映像制作のワークフロー。高解像度、高フレームレート。

瀬戸純一 (教授)

【研究テーマ】

マスメディア、ジャーナリズム

塚本美恵子 (教授)

【論文】

「子どもの描画に見られる文化の影響：『南米につながる子どもたち』とブラジルとペルーの子どもたちの比較から『メディアと情報資源』第 23 巻 第 2 号、駿河台大学メディア情報学部、21-27 2017.3

「在日ペルークラスとペルーでの視聴調査から：描画に見られる文化の影響」『メディアと情報資源』第 23 巻第 1 号、駿河台大学メディア情報学部、23-31 2016.9

【学会発表】

「子どもの映像記憶—日本とペルーでの視聴調査の結果から—」日本教育メディア学会研究会 於：茨城大学 日本教育メディア学会研究会論集第 41 号 (pp15-18) 2016.7.17

「映像記憶に見られる文化の影響—アメリカの高校生の視聴調査から見えたもの—」異文化間教育学会第 37 回大会 於：桜美林大学 第 35 回大会発表抄録 (pp56-57) 2016.6.4

【研究テーマ】

異文化間教育、映像メディア教育、地域の情報発信

寺嶋秀美(准教授)

【研究テーマ】

コンピュータ・ネットワーク、情報システム

杜正文(教授)

【研究テーマ】

ソーシャルメディアと情報セキュリティ

野村正弘(教授)

【論文】

野村正弘・大平寛人・三田照芳

群馬県南東部八王子丘陵周辺に分布する凝灰岩類のフィッシュトラック年代(査読付)

群馬県立自然史博物館研究報告(21)(群馬県立自然史博物館)

【学会発表】

野村正弘・井上智史・住田功太郎・白石行広・宇梶勝雄

極微小資料の光学顕微鏡撮影によるデジタルアーカイブ化(その2)―作成手順とデータ形式の検討―

第23回日本教育メディア学会年次大会(奈良教育大学)

【研究テーマ】

博物館の展示・研究・教育、教育と情報、地域の自然

間島貞幸(准教授)

【研究テーマ】

映像制作

丸山裕孝(教授)

【その他】

丸山裕孝. 授業における Google Apps の利用について. 第6回文化情報学研究所研究会(授業研究).

駿河台大学メディア情報学部研究所紀要, メディアと情報資源, 文化情報学研究所2016年度報告研究会報告. 2017.3, vol.23, no.2, p.75.

【研究テーマ】

金属工芸、現代美術、インタラクティブメディア

村越一哲(教授)

【学会発表】

村越一哲. 1930 年代におけるわが国の児童の体位と栄養状態. 社会経済史学会第 85 回全国大会. 北海道大学 (札幌キャンパス). 2016-6-11.

【その他】

村越一哲. 昭和戦前期の「生活の質」: 計量体格史からの接近. 文化情報学研究所研究会. 駿河台大学. 2016-10-20.

【研究テーマ】

近代における mortality と女性労働

江戸時代の武士人口と官僚制

インターネット上での記録史料情報の共有化

本池巧 (教授)

【研究テーマ】

非線形動力学、フィジカルコンピューティング、モバイルコンピューティング、数式処理システム、e ラーニング